

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 - ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 - ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
 - ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
- (2) 送電線の空容量は、同一送電線においても連系点によって異なる場合があるなど、連系点が定まらない状況で正確な空容量を算定することはできません。このため、本表における空容量の数値は目安であり、ご希望の連系点によっては、空容量が増減する可能性があるため、送電系統への接続を希望される場合には、接続検討をお申込みいただき、その検討の中で連系点に応じた空容量を精査した上で、必要な対策を回答いたします。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1回線送電線のため
 - #3 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 - #4 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 - #5 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
 - #6 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系等考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討を行い必要な対策を回答します。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。なお、連系先が3年以内に増強した設備の場合、今後増強予定の場合、または、電源接続案件募集プロセスが現在進行中のエリアや、フェンス管理している送電線については、運用容量、空容量、またはN-1電制適用可否・N-1電制適用可能量について別途検討が必要等の理由により、備考欄に「●」を記載しております。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給システムに関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」適用後の空容量です。
- (11) 空容量は主に送電線や変圧器容量に基づき算定しており、変電所構内機器の制約などは考慮していません。このため、連系にあたり変電所構内機器の取替が必要となる場合があります。
- (12) 会社間連系または他エリアとの接しよう送電線・変圧器であり電源の接続に関して別途協議が必要な設備については、備考欄に「◆」を記載しております。
- (13) 進行中の電源接続案件募集プロセスの状況によって、空き容量を見直す場合があります。
- (14) 離島については、系統規模が小さいことから、系統連系に係る申込みは個別に検討、協議させていただきます。
- (15) 暫定的な系統容量の確保は、不備のない契約申込み書類を受付けた日となりますが、公表している空容量は契約申込みの書類不備解消を確認してから算定しております。このため、空容量以下の容量の系統連系を希望される場合であっても、上位系統の送電設備の増強工事が必要となる場合があります。増強工事内容については、接続検討にて検討を行い回答いたします。
- (16) 配電用変圧器等の設備容量、運用容量値は、変圧器本体の値を記載しております。また、配電用変圧器等の空容量は、変圧器が複数台ある場合は各変圧器のうち最小値を記載しております。
- (17) ノンファーム型接続欄には、対象設備にノンファーム型接続を適用した場合、「適用」と記載しております。
- (18) ノンファーム適用系統欄のうち、当該設備欄は、その設備がノンファーム型接続の起因設備である場合、「対象」と記載しております。また、上位系のノンファーム設備欄には、ノンファーム型接続の起因となる上位系の設備番号(送電線No、変電所No、フェンスNo)を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
111A	瀬辺地線	66	2	86	57	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
111B	111B線	66	2	86	49	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
111C	十三湖線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
111D	今別支線	66	2	64	32	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
111E	111E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
112A	沖館A線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
112B	岡町支線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
112C	112C線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
112D	112D線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
112E	112E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
113A	沖館B線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
113B	泉野支線	66	2	130	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
113C	小湊線	66	1	65	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
113D	113D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
113E	113E線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
113F	第一浪打支線	66	1	76	44	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
113G	第二浪打支線	66	1			熱容量	-	0	-	-	-	-	-	-

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
114A	青弘線	66	2	132	88	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
114B	浪岡支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
114C	黒石支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
114D	114D線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
114E	114E線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
114F	114F線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
115A	新町野線	66	2	130	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
115B	八甲田線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
115C	駒込支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
115D	嘉瀬子内支線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
115E	115E線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
115F	田代支線	66	1	30	30	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
115G	115G線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
116A	116A線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
116B	青森新城支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
118A	118A線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
118B	大不動支線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
118C	寒水沢支線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
121A	弘南線	66	2	158	79	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
121B	弘前城東線	66	2	164	93	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
121C	東弘前支線	66	2	106	53	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
122A	桔梗野線	66	2	158	91	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
122B	大鰐支線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
122C	122C線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
122D	西弘前線	66	2	130	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
122E	岩木川線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
122F	西目屋支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
122G	北弘前線	66	2	130	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
123A	123A線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
123B	123B線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
123C	浅瀬石川線	33	1	26	26	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
123E	一の渡線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
123F	黒森線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
131A	五弘線	66	2	122	66	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
131B	鶴田支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
131C	板柳支線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
131D	131D線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
132A	菰楯線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
132B	木造支線	66	2	116	72	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
132C	鱒ヶ沢線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
132D	132D線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
133A	五滝線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
133B	深浦線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
133C	大池線	66	1	36	36	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
133D	133D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
133E	松神線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
133F	滝淵線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
134A	十川線	66	2	130	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	ノンファーム型 接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノン ファーム設備	
134B	金木線	66	2	44	27	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
134C	漆川支線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
134D	中里線	33	1	16	16	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
134E	とさ線	33	1	14	14	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
141A	141A線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
142A	尾駸線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
142B	142B線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
142C	142C線	66	2	102	102	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
142D	142D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
143A	143A線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
151A	151A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
152A	白近線	66	1	58	58	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
161A	大湊線	66	2	116	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
161B	仲崎線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
161C	161C線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
161D	佐井線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
161E	岩谷沢支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
161F	161F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
162A	大畑線	66	2	94	52	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
162B	東通支線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
162C	162C線	66	1	43	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
163A	三本松線	66	2	106	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
163B	近川支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
163C	163C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
171A	野辺地線	66	1	66	66	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
171B	平内線	66	1	65	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
171C	171C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
171D	171D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
172A	天間林線	66	1	79	79	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
172B	七戸線	66	1	61	61	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
172C	172C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
172D	172D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
181A	三本木線	66	2	106	69	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
181B	稲生線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
182A	古間木線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
182B	182B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
182C	182C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
182D	182D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
183A	淋代平線	66	2	52	31	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
183B	183B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
183C	183C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
191A	191A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
192A	192A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
193A	193A線	66	1	66	66	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
193B	193B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
194A	小中野線	66	2	172	108	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
194B	194B線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
194C	194C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
194D	類家線	66	2	80	44	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
194E	湊支線	66	1	51	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
194F	194F線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
195A	十和田東線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
195B	前山支線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
195C	相坂支線	66	2	164	164	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
195D	法量支線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
195E	市川線	66	2	130	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
195F	東下田線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
195G	195G線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
195H	195H線	66	2	82	82	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
195J	十和田西線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
195K	蕨線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
196A	八坂線	66	2	106	66	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
196B	堤町支線	66	2	82	48	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
196C	196C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
196D	196D線	66	2	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	◇ ●
197A	197A線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
1A1A	新井田線	66	2	158	79	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A1B	1A1B線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
1A1C	種市支線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
1A1D	階上支線	66	2	102	67	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A2A	坂牛線	66	2	158	86	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A2B	尻内線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A2C	吹上線	66	2	106	69	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A2D	1A2D線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
1A3A	馬淵線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A3B	剣吉支線	66	2	116	65	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A3C	1A3C線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
1A3D	三戸線	66	2	102	51	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A3F	小中島線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A3G	舌崎線	33	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
1A3H	南部古館線	66	2	86	43	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1A3J	1A3J線	66	1	-	-	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ◇ ●
1B1A	浦町支線	66	2	92	53	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
1B2A	青森本町線	66	2	146	86	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	●
311B	矢立線	66	1											秋田県を参照願います。
311C	311C線	66	1											秋田県を参照願います。
1Z01	脇元線	33	1	10	10	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
1Z02	斗内線	33	1	18	18	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
1Z03	十和田北線	33	1	20	20	熱容量	-	0	-	-	-	-	-	※1 ●
3Z01	十和田線	33	1											秋田県を参照願います。